学 校 だ よ り

蓮沼中学校

令和８年度　第６号
令和８年 10 月 13 日発行
大田区立蓮沼中学校
校　長　張替　健二

自分の人生を、自分で舵取りする力を身に付けよう

保護者の皆様、10 月に入り、朝晩は涼しくなり、秋の深まりを感じる季節となりました。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。日頃より、生徒たちの健康管理や生活面での温かいサポートをいただき心より感謝申し上げます。引き続き、よろしくお願いいたします。

さて、９月は、本校の生徒たちが様々な場面で活躍する姿が見られた月となりました。９月９日には、第 79 回大田区立中学校陸上競技選手権大会が開催されました。本校からは、３年男子４×100 メートルリレーで全体第２位という素晴らしい成績を収めたほか、多くの種目で入賞を果たすなど、目覚ましい活躍が見られました。大会に向けて、生徒たちは夏休み中も朝早くから練習に励み、努力を積み重ねてきました。選手として出場した生徒はもちろん、競技を支える役割を担った生徒も含め、仲間と力を合わせ、学校が一丸となって挑んだ大会でした。目標に向かって努力し、互いに支え合う生徒たちの姿は、他の生徒たちにとっても大きな刺激となったことと思います。この経験を通して得た学びが、今後の学校全体のさらなる成長につながることを期待しています。

また、９月 11 日には、生徒会役員選挙が行われました。１・２年生の会長、副会長、役員の各候補者と応援演説者が、学校をより良くしたいという熱い思いを全校生徒に向けて堂々と語りました。公正な選挙を経て選ばれた新生徒会役員の皆さんが中心となり、これからの１年間、学校をさらに盛り上げてくれることを楽しみにしています。３年生の先輩方が築いてきた伝統や取組を引き継ぎながらも、１・２年生ならではの新しい発想や行動力を存分に発揮してほしいと思います。

さらに、10 月４日には、今年度初めての試みとなる PTA 主催「PTA 秋祭り」が開催されました。多くの地域団体の皆様のご参加や、本校からも生徒会と吹奏楽部が参加させて頂きました。当日は大盛況で、600 名を超える方々のご来場があったとお聞きしています。素晴らしい企画・運営にご尽力いただいた PTA の皆様をはじめ、ご協力いただいた地域の皆様に心より感謝申し上げます。

このように、様々な場面で生徒たちが力を発揮し、蓮沼中学校が盛り上がりをみせています。今後も、一人一人の生徒が安心して学校生活を送り、自分らしく挑戦し、活躍できる学校づくりに、教職員一同、力を尽くしてまいります。引き続き温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

生徒の皆さん、現在、文部科学省では、次期学習指導要領の改訂に向けた検討が進められています。学習指導要領とは、全国のどの学校でも一定の水準の教育が受けられるよう、各教科で学ぶ内容や身に付ける力などを定めた、教育の基本となるものです。社会の変化に対応するため、およそ 10 年ごとに改訂されています。次期学習指導要領に向けた議論では、「生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育む」という考え方が示されています。

これからの日本は、人口減少や少子高齢化がさらに進み、多様な文化や価値観をもつ人々が共に暮らす社会になっていきます。また、生成 AI やロボット技術の急速な発展によって、私たちの生活や働き方も大きく変化しています。将来は、事務的な仕事の一部が AI に代替される一方で、AI やロボット技術を支える人材、ものづくりなどの現場を担う人材の不足が予測されています。皆さんが大人になる頃には、今は存在しない新しい仕事が生まれているかもしれません。このような予測困難な未来を生きる皆さんに求められるのは、社会の状況やこれまでの常識が変化しても、自ら考え、判断し、多様な他者と協力しながら行動する力です。しかし、その力は、大人が用意した学びや体験を受け身で待っているだけでは、十分に身に付きません。自分で課題を見つけ、挑戦し、時には失敗しながらも、そこから学び、次の行動につなげていく経験が大切なのです。

私は以前から、「学びは大人から与えられるものではなく、自分から進んで取り組むものです。自分の学びに責任をもちましょう」と伝えてきました。先生から教えてもらうことだけが学びではありません。自分は何を学びたいのか、何ができるようになりたいのか、そのために今、何をすべきなのかを自ら考え、主体的に取り組むことが大切です。

人生も学びも、主役は皆さん自身です。自分の未来を誰かに決めてもらうのではなく、自分自身で選択し、自らの手で切り拓いてほしいと願っています。２学期も後半を迎えます。今一度、自分自身の学び方や生活を見つめ直してみてください。そして、日々の小さな挑戦を積み重ねながら、自分の人生を自分で舵取りする力を身に付けていきましょう。

文責　副校長　福守　久子